

江田島市産のオリーブ冠が各所に登場



4月／『フィギュアスケート国別対抗戦』（福岡）  
広報えたじまの表紙にもなりました



5月／広島市立大河小学校運動会  
江田島市と広島市の縁づくりの一環として今年3月にオリーブ植樹式が行われた大河小学校（広島市南区）。大河小学校とオリーブでの交流を図る中町小学校校長先生の素敵なお提案により、5月の運動会にオリーブ冠を提供しました。



5月／中町小学校運動会



5月／江田島中学校運動会

行事や大会等でのオリーブ冠の使用。  
オリーブ振興室までお気軽にご相談ください。TEL 0823-43-1643

オリーブ トピックス

行ってきました、熊本県

オリーブ視察研修

熊本県荒尾市へ  
オリーブ振興協議会で視察へ行きました

荒尾市は江田島市とほぼ同時期にオリーブ振興に取り組んでいて、言わばオリーブ振興同級生となる自治体です。

視察の初日は、テレビ番組「人生の楽園」にも取り上げられたこともある中川オリーブ園に伺いました。中川さんは定年退職後、オリーブの栽培・加工・販売に取り組んでこれレストランも経営されています。九州地方特有の雨の多い気候条件に苦労されていることもあったようですが高植えや品種などに工夫をされ、今では約1,000本のオリーブを管理されていました。レストランも女性客に大変人気でオリーブの6次産業化を目指すうえで大変参考になりました。

2日目は、荒尾オリーブ村・九州オリーブ普及協会荒尾オリーブ育苗場に伺いました。荒尾市は主にイタリア品種を栽培しており、小豆島との差別化を図っています。こちらでは、主に苗木の管理方法などについて意見が交わされました。

いま、日本全土にオリーブ栽培が広がっています。江田島市も負けてられません。江田島市のオリーブ振興が盛り上がるよう栽培方法や苗木管理の技術向上に協議会も一丸となり取り組んでいきます。 <小山内>



大古小と江能分級で「オリーブ授業」

大古小学校（3年生）と江能分級（高等部2年生）では、今年度の総合的学習としてオリーブが取り上げられています。5月6日、協力隊の小山内さんがそれぞれの学校に伺い、オリーブ授業を実施しました。オリーブを通して地域や作物を学ぶ。江田島ならではの取り組みを応援しています。

オリーブ隊短信

協力隊2年目がスタートしました。おかげさまで栽培支援やPR活動など毎日楽しく仕事させてもらっています。オリーブが島が一層盛り上がるよう、引き続き頑張ります！<小山内>

受賞という嬉しいニュースに心踊りました♪ますますオリーブの輪が広がっていきますように！<西村>

花の季節があっという間に終わり、少しずつ少しずつ大きくなっていくオリーブの実。今年はどれだけ収穫出来るか、早くもわくわくしています。<峰尾>

# オリーブだより えたじま

オリーブの「今」を伝える情報紙



## VOL.13 2019 夏 | 国際コンテストで1位を受賞!



### 江田島オリーブ株式会社が見事に受賞

江田島市オリーブ振興協議会の会員である江田島オリーブ株式会社が製造するオリーブオイル「安芸の島の実 江田島搾り」が、イタリアで開催された国際コンテスト『マスターズ オブ オリーブオイル インターナショナルコンテスト サンレモ 2019』において、2部門にて1位を受賞しました（ミディアムフルーティー部門、ブレンド部門）。また、総合成績でも2位を獲得するなど高い評価を得ました（コンテストには12ヶ国から100本を超えるオイルが出品されていました）。

『マスターズ オブ オリーブオイル インターナショナルコンテスト サンレモ』において、日本のオリーブオイルが賞を獲得するのはこれが初めて。オリーブオイルの伝統的な産地であるイタリアのコンテストにおいて、世界的に有名な生産者のオリーブオイルを抑えての受賞。「ETAJIMA」の名が世界に轟く快挙となりました。

### 協議会発足から9年目の快挙

江田島市では、2011年に官民からなる「オリーブ振興協議会」が発足。市民、企業、行政が一体となり、オリーブ振興に取り組んできました。2011年に50キロだった島内における収穫量は、2018年には5,100キロまで増加。2016年にはオリーブの6次化施設「オリーブファクトリー」（江田島オリーブ株式会社）がオープン。産業化に大きな勢いがつきました。

受賞したオイル「安芸の島の実 江田島搾り」は、主に島内の生産者が育てた果実を江田島オリーブファクトリーで搾った商品。市民が樹を育て、企業が商品化、行政がそれらを支援する。江田島市型のオリーブ振興が大きな花を開く結果となりました。



江田島オリーブ(株)、2015年に搾油機を導入



オリーブファクトリー 2016年夏オープン